

「令和2年7月豪雨災害派遣」

第337高射中隊が出発

7月7日、第337高射中隊の平山3尉以下9名が、令和2年7月豪雨に伴う災害派遣に出発した。
 駐屯地司令以下多くの隊員が見送る中出発した派遣隊員は、当初第2高射特科群各中隊と合流するため朝霞駐屯地へ前進、その後、陸路及び海路を利用し、9日北熊本駐屯地へ到着。翌日早朝、第103補給大隊長を長とした東部方面生活支援隊として編成完結した。
 派遣隊員は、宮崎県えびの市にある霧島演習場に拠点を構え、熊本県人吉市にある人吉西小学校において、入浴支援のための施設開設及び地域の整備を実施したほか、同支援隊に対する食事運搬等の管理支援も実施し、17日間にわたる任務を終え、7月23日、古河駐屯地へ帰隊した。



人吉西小学校で入浴施設を撤収する第337高射中隊隊員

駐屯地としてコロナ対策の徹底を図る
 防疫委員会を設置



防疫委員会では新型コロナウイルス感染症に対する駐屯地内で徹底すべき事項等を検討

駐屯地は3月下旬、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、古河駐屯地初となる防疫委員会を設置した。
 毎週実施している本委員会では、同感染症の現在の状況、災害派遣の状況、駐屯地内の熱発患者の状況及び各部隊等からの状況報告を実施するとともに、患者発生時の対応要領等認識の統一を実施している。
 また、同感染症を疑う際の発熱の基準、PCR検査受検時の報告の周知、訓練時のマスク着用の考え方等、感染症拡大防止の具体的な要領等について審議し、駐屯地内の規範を定め、隊員に徹底している。

より一層の活躍を目指して
 駐屯地女性会同を実施

女性自衛隊員の生活・勤務環境を整え、より活躍できるよう意見聴取することを目的に、平成30年から駐屯地最上級曹長主導で実施していた会同を今年度は一新し、女性だけで再編成した。併せて、少数部隊の女性隊員の孤立を防ぎ、より良い営内環境を築く等の目的で営内組織の見直しも行った。



支処先任上級曹長田村准尉による趣旨説明の後、当日参加できた隊員約40名が自己紹介を行った。
 毎月1回、支処先任上級曹長を中心に、女性により一層活躍できる環境を整えるため活動していく。

隊員の水泳能力の向上と安全を祈願
 水泳場運営開始式



一升瓶を大盤振る舞い、笑顔の開始式となった。

駐屯地は7月20日、水泳場の円滑な運営及び利用者の安全を祈願するため「水泳場運営開始式」を行った。
 式では、駐屯地司令がお神酒及びお清めによる安全祈願を行った後、古河駐屯地業務隊長、第1施設団高級幕僚及び各部隊代表者による泳ぎ初めを実施した。安全祈願の中で司令が、一升瓶一本を全てプールにお神酒として捧げると、会場は和やかに、緊張が程よくほぐれた開始式となった。

花壇コンクール



審査員による花壇審査の様子

6月1日から5日までの間で令和2年度第1回花壇コンクールを開催し、7月1日、駐屯地朝礼で1位から3位までを表彰した。【結果】第1位 古河駐屯地業務隊 第2位 第101施設器材隊 架橋中隊 第3位 関東補給処古河支処 第2回花壇コンクールは10月に開催する。

曹友会・修親会活動



支処分会によるクリーン作戦

曹友会は6月9日、日本赤十字社に協力し、献血活動を実施し50人分の献血目標を達成した。次回の献血協力は9月を予定している。また、6月26日に支処分会が、6月29日には修親会が駐屯地周辺の清掃活動を実施し、環境美化に貢献した。

はもトピ

この「はもトピ」は、駐屯地や地域のトピックスを幅広く紹介するコーナーです。

今回は、PXの営業時間について紹介します。

- 清水理容所 平日1200~1800 ※予約すれば、午前中もOK Yショップ 平日1000~1900 土曜日1100~1300 クリーニング(株)アルファー 毎週月・木曜日1200~1300 イートインスペース 平日1715~2100 土日祝1300~2100 りらくゼーションRoom 平日1000~1700 ご利用お待ちしております！

4月1日付新規採用者

4月1日付で、4名が新規採用されました。皆さん、温かく見守って下さい。



支処 内田事務官 支処 市川事務官 支処 立原事務官 業務隊 佐久間技官

8月1日付異動部隊長

《第102施設直接支援大隊長》



佐藤2佐は十条へ



濱田2佐は十条から

《第341会計隊長》



大塚3佐は高知へ



真見3佐は勝田から

配置換え 部隊長



新第301タンク車両中隊長 佐々木3佐(団本部)

前中隊長 渡邊3佐は、司令業務室長へ

4月1日付【転出者】

- 関東補給処古河支処 行(一)6 境 康之(市ヶ谷) 行(二)4 金井 富雄(相馬原) 行(三)4 池田 稔(富山) 古河駐屯地業務隊 行(一)4 山口 鋭典(幌別) 行(二)4 金井 智重(朝霞) 行(三)3 鈴木 円(市ヶ谷) 【転入者】 関東補給処古河支処 行(一)6 板谷 貴晴(長崎) 行(二)5 山田 均(霞ヶ浦) 行(三)4 室井 淳(市ヶ谷) 古河駐屯地業務隊 行(一)4 橋本 弘貴(滝ヶ原) 行(二)5 平 浩子(防大) 行(三)1 平川 有希之(横須賀)

8月1日付【転出者】

- 第1施設団本部 3等陸佐 村岡 俊之(健軍) 3等陸佐 渡邊 純(朝霞) 3等陸佐 床井 吾一(俱知安) 1等陸尉 高橋 直人(朝霞) 3等陸尉 厚木 朝光(宇都宮) 第1施設団本部付隊 陸曹長 阿部 領(旭川) 2等陸曹 中村 賢(武山) 2等陸曹 倉持 裕之(宇都宮) 2等陸曹 小松崎 祐二(高田) 2等陸曹 古沢 保寛(対馬) 2等陸曹 横野 崇(座間) 第101施設器材隊 3等陸尉 富村 博道(高田) 1等陸曹 落合 慶(宇都宮) 3等陸曹 桑原 健太(郡山) 3等陸曹 西川 顕宏(帯広) 第301タンク車両中隊 陸曹長 遠藤 義典(那覇) 2等陸曹 石川 達也(真駒内) 3等陸曹 安丸 智也(武山) 関東補給処古河支処 1等陸尉 福田 克己(目黒) 2等陸尉 齋藤 和美(目黒) 行(一)1 石橋 健人(小平) 古河駐屯地業務隊 2等陸尉 豊嶋 康太(仙台) 1等陸尉 佐野 則近(桂)

第337高射中隊

- 2等陸曹 三浦 康二(名寄) 2等陸曹 岩崎 仁(松山)

第341会計隊

- 3等陸曹 長田 隼人(霞ヶ浦) 3等陸曹 金井 一成(宇都宮) 陸士長 小林 優(霞ヶ浦)

第320基地通信中隊古河派遣隊

- 3等陸曹 浜田 ひとみ(霞ヶ浦)

【転入者】 第1施設団本部

- 3等陸尉 相江 基文(健軍) 1等陸尉 大嶽 竜司(宇都宮) 1等陸尉 大坪 克人(東千歳) 1等陸尉 古場 萬史(福岡) 3等陸尉 橋本 健一(宇都宮) 3等陸尉 楠輪 靖広(高田) 第1施設団本部付隊 1等陸曹 菅家 正敏(松本) 1等陸曹 築井 剛(高田) 2等陸曹 相澤 大基(宇都宮) 2等陸曹 横澤 孝紀(座間) 2等陸曹 吉澤 孝央(宇都宮) 3等陸曹 伊垣 奨(旭川) 3等陸曹 田中 佑(座間)

第101施設器材隊

- 3等陸曹 赤間 俊文(宇都宮) 3等陸曹 宮澤 雅宏(高田) 2等陸曹 原島 宏彰(武山)

第301タンク車両中隊

- 1等陸尉 割田 誠一(横浜) 1等陸尉 中島 剛(苗穂) 2等陸曹 秋田 元(相馬原) 2等陸曹 柴田 雄一郎(朝霞) 2等陸曹 為我井 文彦(船岡) 2等陸曹 猪瀬 力也(仙台)

関東補給処古河支処

- 1等陸尉 鈴木 雄二(海田市) 3等陸尉 佐々木 信彦(用賀) 陸曹長 野澤 幸(高田) 陸曹長 前中 和文(朝霞)

第102施設直接支援大隊

- 1等陸尉 松本 健一郎(桂) 3等陸曹 佐藤 翼(高田)

第337高射中隊

- 1等陸曹 佐々木 正博(東千歳) 2等陸曹 菅原 大玄(目黒)

第341会計隊

- 2等陸曹 内藤 博志(朝霞)

転出された皆さん、お疲れ様でした。転入された皆さん、よろしく願います。

各部隊等の活動紹介



試験通過を誘導する架橋手



架設準備を行うクレーン



MOP 4 状況下での対空警戒行動



補足命令を下達する先行班

第101施設器材隊は、6月15日から19日までの間、相馬原演習場で実施された、方面施設科職種合同訓練及び#1団集中野営訓練に参加し、併せて#2隊野営訓練を実施した。

方面施設科職種合同訓練では、施設科部隊として交通作業に必要な練度の維持・向上を目的とし、道路構築に所要の特技者を参加させるとともに、橋梁架設においては、架橋中隊がパネル橋MGBを架設した。パネル橋MGBの架設では、2層橋及び2層橋リンク付の約45mの架設について、若年陸曹の識能向上を重視して段階的に実施し、18日、東部方面総監及び第1施設団長の現地指導において、中隊の架設練度の確認を受けた。

団集中野営訓練では、通信、衛生及び偵察教育に参加し、通信班は、東部方面システム通信群による通信器材の操作要領について教育を受け、隊衛生科隊員は朝霞駐屯地において、東部方面衛生隊による新救急法検定実施要領の練成訓練に参加し、偵察班は生地における基本的な道路の偵察・報告要領を演練した。

隊野営訓練では、車両行進から宿営及び警戒・自衛戦闘の一連の部隊行動を演練し、隊本部と各中(付)隊との連携、対敵行動の対処要領等の練度向上を図った。



84ミリ無反動砲発射前



84ミリ無反動砲発射後

第337高射中隊は、4月23日、相馬原演習場において、84ミリ無反動砲実射訓練を実施した。中隊の成果は『全弾命中』で、練成の成果が発揮できた実射となった。参加した隊員からは「実射を経験し、想像以上の爆風・爆音があり、危険区域に対する安全管理が特に重要だと感じた。」との所見を得られ、隊員の意識向上を図ることができた。実射訓練を通じて得たものを今後活かす更なる精強な中隊を目指し練成に励んでいく。



走行散布の様子



集結地安全化の様子

第301ダンプ車両中隊は、4月3日から9日までの間、春季東富士演習場定期整備に機道路整備隊として参加した。

ダンプ作業及び施設機械による整備を実施し、一件の事故もなく任務を完遂し整備隊の任務達成に寄与した。

また、6月5日から7日までの間、第1回中隊集中訓練を実施し、集結地の占領、指揮所の開設及び地雷原の構成の一連の動作を演練して、各級指揮官の指揮・指導能力、指揮所の開設及び地雷原構成の練度向上を図った。



格闘指導官による展示



回線構成する浜田3曹

第320基地通信中隊古河派遣隊は、6月8日、中隊格闘指導官による格闘練成訓練を実施した。今年度に入り初となる練成で当初ぎこちない動作であったが、練成を重ねるごとく力強い動きになり、練度を向上させることができた。引き続き練成を実施し格闘検定全員合格を図る。

また、6月18日から19日の間、第1回大隊訓練に参加した。

訓練では、大規模回線構成の状況が付与されたが日頃の練成の成果を発揮し、示された時間内に構成完了した。今年度は、訓練検閲受閲の年でありさらに練成しその能力の向上を図っていく。



特殊武器防護



有線構成を練成する寺本士長

第341会計隊は、8月末に受閲予定の訓練検閲に向け、各個訓練が始まった。

若年隊員は、慣れない訓練で戸惑い・ぎこちなさを感じさせながらも懸命に訓練に励んでいた。今後も隊長を核として「戦う会計隊」を目指し、日々訓練に励んでいく。

各部隊等の活動紹介

関東補給処古河支処は、4月1日、新規採用事務官の入省式を実施し、男性1名、女性2名の計3名の事務官が配置された。

式では、皆、終始緊張気味の様子であったが、支処長、両部長、先任上級曹長が見守る中、一人一人が服務の宣誓を行い、支処長からの訓示を受け、防衛省事務官としての決意を新たに誓った。3名の今後の活躍が期待される。

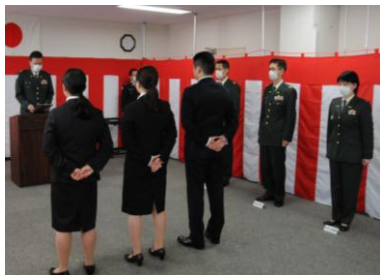
また、4月3日から10日までの間、春季東富士演習場定期整備における補給整備支援を実施した。

支援期間中、部隊の要求に基づき21品目89品の部品補給を実施、計3回の補給品輸送を行うとともに、野整備部隊に対する技術援助を実施する等、施設器材の可動率向上に寄与した。

この間、支処長は現地指導を行い、野整備部隊の要求に即した補給整備支援を実施するよう、隊員を指導した。



服務の宣誓



支処長の訓示受け



現地指導する支処長



補給用品の出庫作業



食堂での対面喫食の回避



服務の宣誓



害虫駆除

早時間入浴把握表

ご案内
 ○ご利用時間 午後3時30分～午後5時30分までのみです。
 ○ご利用人数 1名～2名までです。
 ○ご利用場所 本署に隣接する入浴場に移動し、退浴時、マグネットを壁面に押しつけてください。
 ○その他 換気扇を回して換気をお願いします。

入浴中				
2	3	4	5	
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

マグネット置き場

入浴終了後に壁面にマグネットを押しつけてください。

休日も同様に早時間で入浴ができる

古河駐屯地業務隊は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため駐屯地防疫委員会を実施し、新型コロナウイルス情報の共有、部外者に対する検温及びマスクの着用の依頼、罹患隊員隔離施設等の確保、食堂での対面喫食の回避、浴場使用時の接触防止の処置、隊の交代制勤務の実施、喫煙所における感染拡大防止施策、新型コロナウイルス感染症対策に係るメンタルヘルスの教育、新しい生活様式の実践の徹底、休日の営内者のストレスの緩和のため浴場の早時間開放及びイートインスペースの開放を実施した。

4月1日には業務隊も支処同様、新規採用者に対し入省式を実施し、我が国の防衛に関する基礎的事項の教育及び防衛省職員としての使命を自覚させるとともに、事務官として一社会人としての自覚を付与することができた。

また、1/四半期駐屯地施設整備として、防衛情報通信基盤(DII)マイクログリッド整備工事、1号庁舎FRP補修、害虫駆除、支処油庫外壁補修、ボイラー煙突塗装、樹木伐根、前期ボイラー試験等、計29件の整備を実施し勤務・生活環境の不断の改善を図った。

第102施設直接支援大隊は、4月3日から10日までの間、東富士整備支援隊として、春季東富士演習場定期整備に参加した。

本整備支援隊の編成にあたり、平素の直接支援態勢を保持しつつ、全般支援大隊の一部の支援(需品整備機能)を受けて、被支援部隊の装備品の高可動率を維持した。

併せて、本期間を部隊練成の場として最大限活用し、野外整備能力の向上も併せて図ることができた。

また、6月16日から18日までの間、整備隊(古河)に対し、全般支援に任ずる施設団への野整備支援について、6月20日から22日までの間、第1直接支援隊(松本)に対し、師団を直接支援する施設隊への野整備支援についてそれぞれ訓練検閲を実施し、その練度を評価・判定して、今後の進歩・向上を促した。



燃料フィルター清掃(発電機整備)



タイヤ交換(グレーダ)



HMGの射撃(整備隊)



ガス状況下のパンク修理(第1直接支援隊)